

校外学習

in 高千穂峰登山（中学3年生）

『一歩を踏み出す』ことの大切さ

11月19日（火）、前日の雨の影響を少し心配しましたが、当日の天気は見事に「快晴」、麓にある高千穂河原ビジターセンター付近の気温は約10度、登山にぴったりの小春日和となりました。麓へ向かう道中、窓ガラス越しに見える霧島連山を彩る紅葉が私たち24期生一行を温かく迎えてくれました。思い起こせば、天候に恵まれず登山できなかった2年前の校外学習の思い出も、今となっては神様が与えてくださった「ギフト」だったのでしょ。



正に「百聞不如一見、百見不如一考、百考不如一行」を学んだ生徒も多かったようです。自分の目で見た景色と体験は、きっと「苦しさ」だけではない、苦しきの先にある様々な「学び」を生徒たちに与えてくれたはずです。今回の校外学習で、生徒たちに伝えたかったことは「『一步を踏み出す』ことの大切さ」です。人間の一步は約60～80cm、その「一步」を積み重ねることで、そして、その「一步」を積み重ねた者だけが山頂からの景色を見ることができる。2年前に放送されていた某栄養バランス食品のCMで流れる「受験に意味があるかどうかは分からない。ただ、一步一步自分の力でつかみとった景色は、生涯、忘れないだろう。」というメッセージが生徒たちの心に響くのは、きっと3年後、大学受験を戦い抜いたときでしょう。その「自分の力でつかみとった景色」を共有できる日まで、これからも職員一同、「一步」を踏み出す生徒たちを全力で応援していきます。

日程：令和元年11月19日（火）

訪問地：霧島連山 高千穂峰（標高1574m）

